


ヤマトアオダモ

102

神明社(上祖師谷神明社) 上祖師谷 4-19 

本殿へ向かう階段の途中にあり、斜面に根を大きく張っています。ヤマトアオダモの葉は羽状複葉(うじょうふくよう)といって、小葉が羽状に集まって1枚の葉になっています。フジやムクロジなどの葉も同じようなつくりです。



トチノキ

80

浄真寺 奥沢 7-41



ヤマトアオダモの羽状複葉に対し、こちらは手のひら形の複葉のため、掌状複葉(しょうじょうふくよう)といえます。7枚の小葉が集まって1枚の葉になっています。

20mを超える大木です。



ゴヨウマツ

62

五島美術館 上野毛 3-9



日本庭園にふさわしい美しく仕立てられたマツです。数十年前に伊豆の旅館が閉館になった時にゆずり受けたものだそうです。日本原産のマツで、名前の通り5本の葉が1セットになっています。クロマツやアカマツは2本の葉で1セットです。



ヒマラヤスギ

園 14

都立園芸高等学校



深沢 5-38

名木のヒマラヤスギの中で 2 番目に太い木で、幹周りは 350cmほどあります。スギという名がついていますが、マツの仲間です。数十本の短い葉が束になってつきます。



ヒヨクヒバ

86

西福寺 赤堤 3-28

枝や葉が垂れ下がるサワラの園芸品種です。高さは 15mあり、ヒヨクヒバとしては大木です。

気孔帯(※)がX字型をしています。

※気孔帯：空気の出入りと水の蒸散を行う器官である気孔が帯状に集まったところ



サワラ

64

西福寺 赤堤 3-28

まっすぐに伸びた樹形の美しい木です。ヒノキに似ていますが、葉の裏の白く見える気孔帯の形で見分けます。ヒノキはY字型に見えるのに対してサワラはX字型に見えます。



ヒノキ

サワラ





シンパク (イブキ)

個人宅 喜多見 7-25

68

ビャクシンとも呼ばれます。大木になると幹がねじれたような形になります。1本の木に鱗のように見える鱗片葉（りんぺんよう）と針のような針葉（しんよう）の2種類があります。区内では珍しい木です。



上：針葉 下：鱗片葉

カイツカイブキ

27

医王寺 深沢 6-14

イブキ（ビャクシン）の園芸品種といわれています。葉はイブキと似ていて、こちらも鱗片葉の中に針葉が混じります。葉がうねるような形になり、独特の樹形になることが特徴です。この木は定期的に丸く刈り込まれているようです。




オウゴンチャボヒバ

区立大蔵運動公園 大蔵 4-6  **26**

チャボヒバはヒノキの園芸品種で、葉が黄色っぽくなるものはオウゴンチャボヒバと呼ばれます。もともと個人のお宅にあったものが移植され、ローラースケート場の脇にあります。生長が遅く、大木はなかなか見られません。



アイルランドイチイ

園1 都立園芸高等学校 深沢 5-38 

ヨーロツパイイチイとも呼ばれます。日本のイチイとよく似ていますが、日本ではあまり植えられていない珍しい木です。葉の先は尖っていますが、触っても痛くありません。



香りの する葉

葉に特徴的な香りを持っている種類の
名木があります。落ち葉を拾って香り
を楽しんでみましょう。

ホウショウ（クスノキ）

35 (株) 井上香料製造所 奥沢 1-36


クスノキの葉をもむと、樟脳（しょうのう）のスイツとした香りを感じることができます。樟脳は防虫効果があるといわれ、クスノキは防虫剤の原料として使われてきました。

ホウショウは台湾産で、クスノキの変種にあたります。見た目はクスノキとよく似ていますが、樟脳をあまり含まず、かわりにフローラルな印象の香りのリナロールという成分を多く含みます。リナロールはアロマテラピーや化粧品などの香料に使用されています。



ヤマコウバシ

園 15

都立園芸高等学校 深沢 5-38 

41 ページのハウショウと同じクスノキ科で、「山香ばし」の名の通り、葉をもむと良い香りがします。

落葉樹ですが、紅葉した後も葉が枝に残り、春に落葉します。区内では珍しい木です。



カツラ

園 3

都立園芸高等学校 深沢 5-38 

9 本の株立ちで 20mを超える大木です。葉はハート形～円形で、葉の縁は波形になっています。

色づいた葉はキャラメルのような甘い香りがします。葉は粉末にして抹香(まっこう)にしたそうです。



センペルセコイア 園9

都立園芸高等学校 深沢 5-38



レッドウッドとも呼ばれ、世界一高くなる木として有名です。米国のレッドウッド国立・州立公園にある最も高い木は115.5mもあります。この木は園芸高等学校でいちばん高い木(25.5m)です。葉は揉むと柑橘系の香りがします。カヤの葉に似ていますが、触っても痛くありません。



カヤ

天3

浄真寺 奥沢 7-41



東京都指定天然記念物となっている木です。この木は雌株で、名木のカヤの中で最も樹高が高く 24.9mあります。葉と仮種皮(かしゅひ)(※)はグレープフルーツのような良い香りがします。

※仮種皮とは種皮の外側を覆う付属物で種皮のように見えます。

